

様式第2号の2-①【(2)-①学外者である理事の複数配置】

※ 国立大学法人・独立行政法人国立高等専門学校機構・公立大学法人・学校法人・準学校法人は、この様式を用いること。これら以外の設置者は、様式第2号の2-②を用いること。

学校名	仙台デザイン&テクノロジー専門学校
設置者名	学校法人滋慶学園

1. 理事（役員）名簿の公表方法

https://www.sca.ac.jp/school/public_info/index.html

2. 学外者である理事の一覧表

常勤・非常勤の別	前職又は現職	任期	担当する職務内容 や期待する役割
非常勤	株式会社役員 (前職)	令和7年5月 29日～ 令和10年度 の定時評議 委員会	地元(江戸川区)の名士として学校と地域の連携を図る
非常勤	株式会社役員	令和7年5月 29日～ 令和10年度 の定時評議 委員会	地元(北海道)の名士として学校と地域の連携を図る。
(備考)			

様式第2号の3 【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】

学校名	仙台デザイン&テクノロジー専門学校
設置者名	学校法人滋慶学園

○厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表の概要

1. 授業科目について、授業の方法及び内容、到達目標、成績評価の方法や基準その他の事項を記載した授業計画書(シラバス)を作成し、公表していること。	
(授業計画書の作成・公表に係る取組の概要) 授業科目は、授業計画(シラバス)に基づき実施されている。 授業計画(シラバス)は、科目名・必修選択・授業形態・該当年次・担当教員・総時間(単位)・開講区分・曜日・時限・教員の略歴・授業の学習内容・到達目標・評価方法と基準・授業計画・内容について記している。 また、授業開始前に学生に説明し、本校ホームページに公表している。 シラバス作成手順 8月頃:教育課程検討 9月頃:授業の学習内容及び到達目標検討 10月頃:講師選定 12月頃:講師業務委託契約書締結 1月頃:教務会議にて、年間スケジュールおよびシラバス概要について確認 2月頃:講師会開催、シラバス作成及び提出依頼 4月頃:授業開始時シラバス配布 5月頃:シラバス公表予定	
授業計画書の公表方法	https://www.sca.ac.jp/school/public_info/index.html

2. 学修意欲の把握、試験やレポート、卒業論文などの適切な方法により、学修成果を厳格かつ適正に評価して単位を与え、又は、履修を認定していること。

(授業科目の学修成果の評価に係る取組の概要)

全学科、定期試験の成績により学修成果の評価を行い、単位認定している。

(試験、成績評価及び進級)

学則第 10 条

試験は学期ごとに行い、各学科とも最終学年の終わりには、卒業試験を行う。試験の方法等については別に定める。ただし、実習については実習の成績によって修了を認定することができる。

2 試験の成績は授業科目ごとに 100 点満点とし、60 点以上を合格点とする。ただし、その各科目の評価については別に定める。

3 進級については、進級判定会議の審議に基づき、校長が決定する。

4 合格点に満たない科目については、再試験を行うことがある。

5 学科試験に欠席した者で、その理由がやむを得ないと認められた者は、追試験を行うことがある。

6 GPA (グレード・ポイント・アベレージ) 制度による評価については別に定める。

(成績評価)

各科目について出席率、授業態度、臨時及び定期試験の成績、レポート並びに課題の成績を総合的に勘案し、次項に定める 4 段階評価とする。

2 A・B・C を合格とし、D を不合格とする。

A・・・100～80 点

B・・・79～70 点

C・・・69～60 点

D・・・59～0 点

3 GPA 制度による成績評価の場合は、「試験規定 別表 1GPA 制度による評価」の通りとする。

4. 卒業の認定に関する方針を定め、公表するとともに、適切に実施していること。 (卒業の認定方針の策定・公表・適切な実施に係る取組の概要) 全学科、学生便覧にて卒業認定要件を示し、卒業判定会議で学校長の確認・決定の上、認定している。 (卒業、課程修了の認定) 学則第 24 条 校長は、第 10 条に定める授業科目の成績評価及び卒業判定会議の審議に基づき、課程修了の認定を行う。 2 校長は、所定の修業年限以上在籍し、課程を修了したと認めた者には、卒業証書（別記様式 1）並びに高度専門士又は専門士称号授与書（別記様式 2）を授与する	
卒業の認定に関する 方針の公表方法	https://www.sca.ac.jp/school/public_info/index.html

様式第2号の4-②【(4)財務・経営情報の公表（専門学校）】

※専門学校は、この様式を用いること。大学・短期大学・高等専門学校は、様式第2号の4-①を用いること。

学校名専門学校	仙台デザイン&テクノロジー専門学校
設置者名	学校法人滋慶学園

1. 財務諸表等

財務諸表等	公表方法
貸借対照表	https://www.sca.ac.jp/school/public_info/
収支計算書又は損益計算書	https://www.sca.ac.jp/school/public_info/
財産目録	https://www.sca.ac.jp/school/public_info/
事業報告書	https://www.sca.ac.jp/school/public_info/
監事による監査報告（書）	https://www.sca.ac.jp/school/public_info/

2. 教育活動に係る情報

①学科等の情報

分野		課程名	学科名		専門士		高度専門士	
文化・教養		文化・教養 専門課程	クリエイティブコミュニケーション科 (昼間Ⅰ部)		○			
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 単位数	開設している授業の種類					
			講義	演習	実習	実験	実技	
3 年	昼	93 単位		152 単位	144 単位			
			296 単位					
学生総定員数		学生実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数		総教員数	
150 人		156 人	1 人	12 人	81 人		93 人	

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）
（概要） 業科目は、授業計画(シラバス)に基づき実施されている。 授業計画(シラバス)は、科目名・必修選択・授業形態・該当年次・担当教員・総時間(単位)・開講区分・曜日・時限・教員の略歴・授業の学習内容・到達目標・評価方法と基準・授業計画・内容について記している。 また、授業開始前に学生に説明し、本校ホームページに公表している。 シラバス作成手順 8月頃:教育課程検討 9月頃:授業の学習内容及び到達目標検討 10月頃:講師選定 12月頃:講師業務委託契約書締結 1月頃:教務会議にて、年間スケジュールおよびシラバス概要について確認 2月頃:講師会開催、シラバス作成及び提出依頼 4月頃:授業開始時シラバス配布 5月頃:シラバス公表予定

成績評価の基準・方法			
(概要) 全学科、定期試験の成績により学修成果の評価を行い、単位認定している。 (試験、成績評価及び進級) 学則第 10 条 試験は学期ごとに行い、各学科とも最終学年の終わりには、卒業試験を行う。 試験の方法等については別に定める。ただし、実習については実習の成績によって修了を認定することができる。 2 試験の成績は授業科目ごとに 100 点満点とし、60 点以上を合格点とする。ただし、その各科目の評価については別に定める。 3 進級については、進級判定会議の審議に基づき、校長が決定する。 4 合格点に満たない科目については、再試験を行うことがある。 5 学科試験に欠席した者で、その理由がやむを得ないと認められた者は、追試験を行うことがある。 6 GPA (グレード・ポイント・アベレージ) 制度による評価については別に定める。 (成績評価) 試験規定第 11 条 各科目について出席率、授業態度、臨時及び定期試験の成績、レポート並びに課題の成績を総合的に勘案し、次項に定める 4 段階評価とする。 2 A・B・C を合格とし、D を不合格とする。 A・・・100～80 点 B・・・79～70 点 C・・・69～60 点 D・・・59～0 点 3 GPA 制度による成績評価の場合は、「試験規定 別表 1GPA 制度による評価」の通りとする。			
卒業・進級の認定基準			
(概要) 全学科、学生便覧にて卒業認定要件を示し、卒業判定会議で学校長の確認・決定の上、認定している。 (卒業、課程修了の認定) 学則第 24 条 校長は、第 10 条に定める授業科目の成績評価及び卒業判定会議の審議に基づき、課程修了の認定を行う。 2 校長は、所定の修業年限以上在籍し、課程を修了したと認めた者には、卒業証書(別記様式 1)並びに高度専門士又は専門士称号授与書(別記様式 2)を授与する。			
学修支援等			
(概要) 本校では、スチューデントサービスセンターを設け、専門カウンセラーを設置し、学修に対して困難な学生をサポートしている。			

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業生数	進学者数	就職者数 (自営業を含む。)	その他

61 人 (100%)	0 人 (%)	60 人 (98.4%)	1 人 (1.6%)
(主な就職、業界等) ゲームプログラマー、IT エンジニア、グラフィックデザイナー、アニメーター他			
(就職指導内容) 合同企業説明会（年 2 回開催）、就職出陣式、就職模擬面接会、履歴書添削会、就職セミナー			
(主な学修成果（資格・検定等）) Microsoft Azure AI Fundamental			
(備考)（任意記載事項）			

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
174 人	2 人	1.1%
(中途退学の主な理由) 進路変更、学業不振		
(中退防止・中退者支援のための取組) 個人面談、学費相談（分割納入や奨学金等含む）、保護者面談、三者面談、学生相談センター（SSC）		

①学科等の情報

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士		
文化・教養		文化・教養 専門課程	クリエイティブコミュニケーション科 (昼間Ⅱ部)	○			
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
3 年	昼	93 単位		152 単位	144 単位		
			296 単位				
学生総定員数		学生実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数	
150 人		175 人	人	人	人	人	

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）
(概要) 授業科目は、授業計画(シラバス)に基づき実施されている。 授業計画(シラバス)は、科目名・必修選択・授業形態・該当年次・担当教員・総時間(単位)・開講区分・曜日・時限・教員の略歴・授業の学習内容・到達目標・評価方法と基準・授業計画・内容について記している。 また、授業開始前に学生に説明し、本校ホームページに公表している。

シラバス作成手順 8 月頃:教育課程検討 9 月頃:授業の学習内容及び到達目標検討 10 月頃:講師選定 12 月頃:講師業務委託契約書締結 1 月頃:教務会議にて、年間スケジュールおよびシラバス概要について確認 2 月頃:講師会開催、シラバス作成及び提出依頼 4 月頃:授業開始時シラバス配布 5 月頃:シラバス公表予定
成績評価の基準・方法 (概要) 全学科、定期試験の成績により学修成果の評価を行い、単位認定している。 (試験、成績評価及び進級) 学則第 10 条 試験は学期ごとに行い、各学科とも最終学年の終わりには、卒業試験を行う。 試験の方法等については別に定める。ただし、実習については実習の成績によって修了を認定することができる。 2 試験の成績は授業科目ごとに 100 点満点とし、60 点以上を合格点とする。ただし、その各科目の評価については別に定める。 3 進級については、進級判定会議の審議に基づき、校長が決定する。 4 合格点に満たない科目については、再試験を行うことがある。 5 学科試験に欠席した者で、その理由がやむを得ないと認められた者は、追試験を行うことがある。 6 GPA (グレード・ポイント・アベレージ) 制度による評価については別に定める。 (成績評価) 試験規定第 11 条 各科目について出席率、授業態度、臨時及び定期試験の成績、レポート並びに課題の成績を総合的に勘案し、次項に定める 4 段階評価とする。 2 A・B・C を合格とし、D を不合格とする。 A・・・100～80 点 B・・・79～70 点 C・・・69～60 点 D・・・59～0 点 3 GPA 制度による成績評価の場合は、「試験規定 別表 1GPA 制度による評価」の通りとする。
卒業・進級の認定基準 (概要) 全学科、学生便覧にて卒業認定要件を示し、卒業判定会議で学校長の確認・決定の上、認定している。 (卒業、課程修了の認定) 学則第 24 条 校長は、第 10 条に定める授業科目の成績評価及び卒業判定会議の審議に基づき、課程修了の認定を行う。 2 校長は、所定の修業年限以上在籍し、課程を修了したと認めた者には、卒業証書(別記様式 1) 並びに高度専門士又は専門士称号授与書(別記様式 2) を授与する。

学修支援等
(概要) 本校では、スチューデントサービスセンターを設け、専門カウンセラーを設置し、学修に対して困難な学生をサポートしている。

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業生数	進学者数	就職者数 (自営業を含む。)	その他
63 人 (100%)	0 人 (0 %)	55 人 (87.3%)	8 人 (12.7%)
(主な就職、業界等) ゲームプログラマー、IT エンジニア、グラフィックデザイナー、アニメーター他			
(就職指導内容) 合同企業説明会（年 2 回開催）、就職出陣式、就職模擬面接会、履歴書添削会、就職セミナー			
(主な学修成果（資格・検定等）) Microsoft Azure AI Fundamental			
(備考)（任意記載事項）			

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
180 人	4 人	2.2%
(中途退学の主な理由) 学校生活不適應、進路変更		
(中退防止・中退者支援のための取組) 個人面談、学費相談（分割納入や奨学金等含む）、保護者面談、三者面談、学生相談センター（SSC）		

①学科等の情報

分野		課程名	学科名		専門士		高度専門士	
文化・教養		文化・教養 専門課程	スーパークリエイター科 (昼間Ⅰ部)				○	
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 単位数	開設している授業の種類					
			講義	演習	実習	実験	実技	
4 年	昼	124 単位		156 単位	192 単位			
			348 単位					
学生総定員数		学生実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数		
220 人		165 人	人	人	人	人		

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）
（概要） 授業科目は、授業計画(シラバス)に基づき実施されている。 授業計画(シラバス)は、科目名・必修選択・授業形態・該当年次・担当教員・総時間(単位)・開講区分・曜日・時限・教員の略歴・授業の学習内容・到達目標・評価方法と基準・授業計画・内容について記している。 また、授業開始前に学生に説明し、本校ホームページに公表している。 シラバス作成手順 8 月頃:教育課程検討 9 月頃:授業の学習内容及び到達目標検討 10 月頃:講師選定 12 月頃:講師業務委託契約書締結 1 月頃:教務会議にて、年間スケジュールおよびシラバス概要について確認 2 月頃:講師会開催、シラバス作成及び提出依頼 4 月頃:授業開始時シラバス配布 5 月頃:シラバス公表予定
成績評価の基準・方法
（概要） 全学科、定期試験の成績により学修成果の評価を行い、単位認定している。 （試験、成績評価及び進級） 学則第 10 条 試験は学期ごとに行い、各学科とも最終学年の終わりには、卒業試験を行う。 試験の方法等については別に定める。ただし、実習については実習の成績によって修了を認定することができる。 2 試験の成績は授業科目ごとに 100 点満点とし、60 点以上を合格点とする。ただし、その各科目の評価については別に定める。 3 進級については、進級判定会議の審議に基づき、校長が決定する。 4 合格点に満たない科目については、再試験を行うことがある。 5 学科試験に欠席した者で、その理由がやむを得ないと認められた者は、追試験を行うことがある。 6 GPA（グレード・ポイント・アベレージ）制度による評価については別に定める。 （

成績評価) 試験規定第 11 条 各科目について出席率、授業態度、臨時及び定期試験の成績、レポート並びに課題の成績を総合的に勘案し、次項に定める 4 段階評価とする。 2 A・B・C を合格とし、D を不合格とする。 A・・・100～80 点 B・・・ 79～70 点 C・・・ 69～60 点 D・・・ 59～ 0 点 3 GPA 制度による成績評価の場合は、「試験規定 別表 1GPA 制度による評価」の通りとする。
卒業・進級の認定基準 (概要) 全学科、学生便覧にて卒業認定要件を示し、卒業判定会議で学校長の確認・決定の上、認定している。 (卒業、課程修了の認定) 学則第 24 条 校長は、第 10 条に定める授業科目の成績評価及び卒業判定会議の審議に基づき、課程修了の認定を行う。 2 校長は、所定の修業年限以上在籍し、課程を修了したと認めた者には、卒業証書(別記様式 1) 並びに高度専門士又は専門士称号授与書(別記様式 2) を授与する。
学修支援等 (概要) 本校では、スチューデントサービスセンターを設け、専門カウンセラーを設置し、学修に対して困難な学生をサポートしている。

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業生数	進学者数	就職者数 (自営業を含む。)	その他
50 人 (100%)	0 人 (%)	38 人 (76%)	12 人 (24%)
(主な就職、業界等) IT エンジニア、プロモーター、ソフトウェアアウトソーシング、ゲーム会社他			
(就職指導内容) 合同企業説明会（年 2 回開催）、就職出陣式、就職模擬面接会、履歴書添削会、就職セミナー			
(主な学修成果（資格・検定等）) Microsoft Azure AI Fundamental			
(備考)（任意記載事項）			

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
175 人	3 人	1.7%
(中途退学の主な理由) 学生生活不適應、修学意欲低下		
(中退防止・中退者支援のための取組) 個人面談、学費相談（分割納入や奨学金等含む）、保護者面談、三者面談、学生相談センター（SSC）		

①学科等の情報

分野		課程名	学科名		専門士		高度専門士	
文化・教養		文化・教養 専門課程	スーパークリエイター科 (昼間Ⅱ部)				○	
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 単位数	開設している授業の種類					
			講義	演習	実習	実験	実技	
4 年	昼	124 単位		156 単位	192 単位			
			348 単位					
学生総定員数		学生実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数		
220 人		198 人	人	人	人	人		

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）	
（概要） 授業科目は、授業計画(シラバス)に基づき実施されている。 授業計画(シラバス)は、科目名・必修選択・授業形態・該当年次・担当教員・総時間(単位)・開講区分・曜日・時限・教員の略歴・授業の学習内容・到達目標・評価方法と基準・授業計画・内容について記している。 また、授業開始前に学生に説明し、本校ホームページに公表している。 シラバス作成手順 8 月頃:教育課程検討 9 月頃:授業の学習内容及び到達目標検討 10 月頃:講師選定 12 月頃:講師業務委託契約書締結 1 月頃:教務会議にて、年間スケジュールおよびシラバス概要について確認 2 月頃:講師会開催、シラバス作成及び提出依頼 4 月頃:授業開始時シラバス配布 5 月頃:シラバス公表予定	
成績評価の基準・方法	
（概要） 全学科、定期試験の成績により学修成果の評価を行い、単位認定している。 （試験、成績評価及び進級） 学則第 10 条 試験は学期ごとに行い、各学科とも最終学年の終わりには、卒業試験を行う。 試験の方法等については別に定める。ただし、実習については実習の成績によって修了を認定することができる。 2 試験の成績は授業科目ごとに 100 点満点とし、60 点以上を合格点とする。ただし、その各科目の評価については別に定める。 3 進級については、進級判定会議の審議に基づき、校長が決定する。 4 合格点に満たない科目については、再試験を行うことがある。 5 学科試験に欠席した者で、その理由がやむを得ないと認められた者は、追試験を行うことがある。 6 GPA（グレード・ポイント・アベレージ）制度による評価については別に定める。	

(成績評価) 試験規定第 11 条 各科目について出席率、授業態度、臨時及び定期試験の成績、レポート並びに課題の成績を総合的に勘案し、次項に定める 4 段階評価とする。 2 A・B・C を合格とし、D を不合格とする。 A・・・100～80 点 B・・・ 79～70 点 C・・・ 69～60 点 D・・・ 59～ 0 点 3 GPA 制度による成績評価の場合は、「試験規定 別表 1GPA 制度による評価」の通りとする。
卒業・進級の認定基準 (概要) 全学科、学生便覧にて卒業認定要件を示し、卒業判定会議で学校長の確認・決定の上、認定している。 (卒業、課程修了の認定) 学則第 24 条 校長は、第 10 条に定める授業科目の成績評価及び卒業判定会議の審議に基づき、課程修了の認定を行う。 2 校長は、所定の修業年限以上在籍し、課程を修了したと認めた者には、卒業証書(別記様式 1) 並びに高度専門士又は専門士称号授与書(別記様式 2) を授与する。
学修支援等 (概要) 本校では、スチューデントサービスセンターを設け、専門カウンセラーを設置し、学修に対して困難な学生をサポートしている。

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業生数	進学者数	就職者数 (自営業を含む。)	その他
人 (100%)	人 (%)	人 (%)	人 (%)
(主な就職、業界等)			
(就職指導内容) 合同企業説明会（年 2 回開催）、就職出陣式、就職模擬面接会、履歴書添削会、就職セミナー			
(主な学修成果（資格・検定等）) Microsoft Azure AI Fundamental			
(備考)（任意記載事項） スーパークリエイター科（昼間Ⅱ部）は、2022 年 4 月募集停止、2023 年 4 月募集再開のため、2025 年度は卒業生無し。			

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
140 人	7 人	5%
(中途退学の主な理由) 学生生活不適應、修学意欲低下、進路変更		
(中退防止・中退者支援のための取組) 個人面談、学費相談（分割納入や奨学金等含む）、保護者面談、三者面談、学生相談センター（SSC）		

②学校単位の情報

a)「学生納付金」等

学科名	入学金	授業料 (年間)	その他	備考（任意記載事項）
クリエイティブコミュニケーション科 (昼間Ⅰ部)	150000 円	300000 円	770000 円	施設維持費、総合演習費、 キャリア教育振興費
クリエイティブコミュニケーション科 (昼間Ⅱ部)	150000 円	300000 円	770000 円	施設維持費、総合演習費、 キャリア教育振興費
スーパークリエイター科 (昼間Ⅰ部)	150000 円	300000 円	770000 円	施設維持費、総合演習費、 キャリア教育振興費
スーパークリエイター科 (昼間Ⅱ部)	150000 円	300000 円	770000 円	施設維持費、総合演習費、 キャリア教育振興費
修学支援（任意記載事項）				
納入スケジュールでの学費納入が難しい方に対し、延納・分納措置を行っている。				

b) 学校評価

自己点検評価結果の公表方法
（ホームページアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法） https://www.sca.ac.jp/school/public_info/index.html
第三者評価の基本方針（実施方法・体制）
卒業生、保護者代表、近隣関係者、高等学校関係者並びに業界関係者により構成される学校関係者評価委員会は、学校教職員が行った自己点検・自己評価の内容を審議・評価することを通じて、学校運営の改善に活かすことを基本方針とします。 なお、評価項目としては、令和8年4月1日施行学校教育法の改正による学校評価ガイドライン項目とします。
項目1 教育理念・目的・目標
1 教育理念、目的及び目標の設定等
項目2 教育課程、教育の実施、学修成果
1 教育課程の編成と授業科目 2 教育の実施 3 単位・卒業認定 4 学修成果目標の達成状況
項目3 学生の受入れ、学生支援
1 学生募集及び入学者の選抜、収容定員の管理 2 自主的な学習の促進に対する支援 3 多様な学生に対する支援 4 学生生活に関する支援
項目4 教育実施組織・教員

1 教員の配置、募集、採用 2 教員の組織編制等 3 教員の資質の向上 項目 5 教育環境 1 教育環境の整備 2 安全対策、防火組織 3 施設・設備等の点検、改善等 項目 6 教育活動の基盤と改善・向上の取組 1 中期事業計画と財務基盤 2 学校運営 3 学校評価の実施と改善活動 4 社会からの理解と情報の共有		
第三者評価の委員		
所属	任期	種別
卒業生代表	2025 年 4 月～ 2027 年 3 月	卒業生
保護者代表	2025 年 4 月～ 2027 年 3 月	保護者
東北生活文化大学高等学校	2025 年 4 月～ 2027 年 3 月	高等学校関係者
東八中央親交会	2025 年 4 月～ 2027 年 3 月	地域関係者
株式会社エクスマインド	2025 年 4 月～ 2027 年 3 月	業界関係者
株式会社トゥルーグリッド	2025 年 4 月～ 2027 年 3 月	業界関係者
第三者評価結果の公表方法		
(ホームページアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法) https://www.sca.ac.jp/school/public_info/index.html		
(備考)		
令和 8 年度第三者評価は未実施、令和 9 年 6 月自己評価報告書を第三者評価機関へ提出、令和 10 年 1 月第三者評価審査会実施予定、令和 10 年 3 月第三者評価結果公表予定		

c) 当該学校に係る情報

(ホームページアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法) https://www.sca.ac.jp 又は、メインパンフレット及び募集要項の郵送
--